

神戸大 新2年生にも入学式

神戸大神戸市灘区は、4月6日に開く入学式を2部構成にし、新型コロナウイルス感染拡大で昨年入学式が中止となった新2年生も対象にするを明らかにした。昨年の中止を受け、保護者や教職員から上がった「やらせてあげたい」という声に応えた形だ。

同大では初の試み。会場はワールド記念ホール（神戸市中央区）で、午前に2021年度入学の新入生を、午後から新2年生を対象にそれぞれ開催する。

同大の担当者は「昨年と違い、対策をすれば対面授業も可能になった。入学を許可する大切な式典なので、1年遅れでも開く必要があると判断した」と語る。密を避けるため、2階も活用して席を一つずつ空け、

4月6日

コロナで昨年中止、新入生と同日

出席者も学生に限る。保護者や感染不安で欠席する学生向けには、動画投稿サイト「ユーチューブ」で配信する。

兵庫県内の大学では昨年、入学式や卒業式が軒並み中止となったが、今年は学部ごとに分散したり、インターネット配信を活用したりして開く大学も多い。

神戸学院大（神戸市中央区）も昨年は卒業式、入学式とも中止したが、今年の卒業式は学部ごとに学位記授与式を実施する方針。関西学院大（西宮市）では、従来卒業式の式典を2回に分けていたが、4回に増やして分散を図る。同大の担当者は「コロナの影響で、今年の4年生は通学もままならなかった。しっかりと送り出してあげたい」と話している。

（斉藤絵美、太中麻美）

2021年2月19日 神戸新聞分

あなた達の未来には、あなた達だけでなく
あなた達とは別の闘い方をし続けた人達とも
同じ道も与えられる。

たかがセシモニー、されどセシモニー。止まっていた時間、止まっていた心のスタートを皆と共に
動かし、進んでいってほしいと思います。